



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デューク (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「救いの井戸」

イザヤ書十二章冒頭に、「主なる神はわが力、わが歌であり、わが救いとなられたからである。あなたがたは喜びをもって、救いの井戸から水をくむ」という神への賛歌が記されている。これは出エジプト記十五章2節からの引用であり、イザヤがそれに「救いの井戸から水をくむ」と付け加えたものである。

このモーセの歌はかつて大國エジプトに奴隷であったイスラエルの同胞を解放するために、追いつがるエジプト軍を翻弄させながら紅海を渡り、敵を海に葬つて完全な勝利を得た時のものである。それから六百年以上も経ち、今度は大國アッシリアがエルサレムを囲んだ。でも預言者イザヤはその縄目からも神が解放してくれることを知っていた。そこで彼はかつてのモーセの言葉を引用して、それはちょうど井戸から水を汲むような湧き上がる喜びであり、救いだと言ったのである。そして神はこの時も天使を遣わして勝利を賜ったのだ。

そして聖書は主イエスの時代になり、真の救いの井戸から水を汲む時が来たことを告げる。イスラエル三大祭の一つである仮庵の祭りの最終日に、祭司はシロアムの池から金の鉢に水を汲み、それを神殿の祭壇に注ぐという儀式をする。この祭りの様子がヨハネ七章に描かれていて、主イエスは祭司の汲む水が厳かに運ばれて行く様子を見ながら、目の前の大勢の道行く人々に向かって、「だれでもかわく者は、わたしのところに来て飲むがよい。わたしを信じる者は、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう」(37:33-38節)と大声で叫んだのだ。続いて聖書は「これは、イエスを信じる人々が受けようとしている御霊をさしている」とコメントしているが、先のイザヤの「救いの井戸」とは、実は主を信じることによって与えられる永遠の命であって、聖霊の祝福に満ちた時代の到来を意味していたのである。祭司が注ぐ祭壇の水は、あたかも神のみ座から聖霊が「一つの川」(詩篇四六・4)となって流れ下るようであり、それは悠久の大河のように世界の人々の心を豊かに潤すというのだ。

イスラエルのような乾燥地ではオアシスこそ命であり、それがなくては人も家畜も一日でさえ生きてはいけない。救いも同様である。聖霊の働きが無ければ誰一人として救いにあずかることはできない。しかし主を信じることによって、豊かな聖霊の恵みにあずかることが出来るのである。約束の聖霊が下った時に人々は新しい酒に酔っているのではないかと言われたほどにそれに陶醉した。だから今日も聖霊を豊かにいただきよう。飲むほどに、そして酔うほどに。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

